

## 平和への誓い

いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。  
同じ過ちを繰り返さないために、多くの人々が事実を知る必要があります。

原子爆弾が投下されたあの日のことを、思い浮かべたことはありますか。  
昭和 20 年(1945 年)8 月 6 日 午前 8 時 15 分。  
この広島に人類初の原子爆弾が投下され、一瞬にして当たり前の日常が消えました。  
誰なのか分からないくらい皮膚がただれた人々。  
涙とともに止まらない、絶望の声。  
一発の原子爆弾は、多くの命を奪い、人々の人生を変えたのです。

被爆から 80 年が経つ今、本当は辛くて、思い出したくない記憶を伝えてくださる  
被爆者の方々から、直接話を聞く機会は少なくなっています。  
どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代  
へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。

世界では、今もどこかで戦争が起きています。  
大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。

その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。  
多様性を認め、相手のことを理解しようとする事。  
一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つ  
き、悲しい思いをする人がいなくなるはずです。  
周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながる  
のではないのでしょうか。

### One voice.

たとえ一つの声でも、学んだ事実に思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことが  
できるはずです。  
大人だけでなく、こどもである私たちも平和のために行動することができます。  
あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないために、私たちが、被爆  
者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げていきま  
す。

令和 7 年(2025 年)8 月 6 日  
こども代表 広島市立皆実小学校 6 年 広島市立祇園小学校 6 年